

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
池田 敏子					講義	

授 業 概 要

地域看護は、地域で生活しているさまざまな健康レベルの個人、家族、集団、コミュニティを対象に展開され、社会情勢や疾病構造の変化など社会のニーズに応じた形で活動の場が広がっている。昨今の少子高齢化の中、地域包括ケアシステムの構築が示され、看護職はその構築へ向け大きな役割を果たすことが求められる。この科目では、地域での生活（QOL）を支えるケア提供へ向けた基盤となる知識の修得を目指す。具体的には、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう保健医療福祉の多くの専門職と連携・協働を行い、地域での生活を支えるケア体制を整えていくことの必要性と求められる技術、活動の場に応じた看護職の機能と役割について学修する。

到 達 目 標

1. 地域看護の概念、定義、対象と活動の場、活動を支える概念について説明できる
2. 地域看護の歴史からみた地域看護活動の特性について説明できる
3. 人々の健康と社会環境との関連について説明できる
4. ヘルスケアシステムの成り立ちと地域保健医療福祉行政について説明できる
5. 地域看護活動としての行政、産業、学校、在宅看護活動の特性について説明できる
6. 個と集団の支援、地域診断、地域ケアシステムづくりについて、地域看護技術について説明できる
7. 地域包括ケアシステムについて、地域包括支援センターの活動の実際について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

- 事前学修：1. 該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
2. 主体的に自己研鑽する
- 事後学修：1. 当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする
2. 当該テーマに沿った関連文献を読み、さらに内容を深める

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価

筆記試験（80％）、課題レポート（20％）

教 科 書

1. 河原加代子, 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 第6版【電子版】, 医学書院, 2023.
2. 河原加代子, 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践 第6版【電子版】, 医学書院, 2023.

参 考 図 書

1. 豊島泰子編, 看護師のための地域看護学, PILAR PRESS, 2021.
2. 木下由美子編, Essentials 地域看護学 第2版, 医歯薬出版株式会社, 2016.
3. 岸恵美子・大木幸子, 地域・在宅看護学, 中央法規, 2022.
4. 神馬征峰, 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生 第14版【電子版】, 医学書院, 2022.
5. 国民衛生の動向2022/2023 一般社団法人厚生労働統計協会, 2022.

留 意 事 項

疾病や障害があっても地域で安心して生活することができるように看護職がどのような場でどのような活動を行っているか、また、特に求められる看護技術と看護職の役割が理解できるよう積極的に講義に参加し、学修することを望みます。

オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（14時40分～16時00分）2717研究室

実 務 経 験

地域住民の健康づくり支援を行う看護職として保健所・保健センターにて約7年間の勤務経験あり。

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
池田 敏子					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	地域看護学とは	授業ガイダンス 地域看護学の概念、対象と活動の場	池田敏子
2	地域看護学の歴史	地域看護のはじまりとその変遷	池田敏子
3	社会環境の変化と健康影響	健康に影響する生活環境と社会的要因、健康格差	池田敏子
4	ヘルスケアシステム	ヘルスケアシステムのなりたちと地域保健医療福祉行政	池田敏子
5	地域看護技術① -地域診断-	生活の場としての地域のとらえ方と支援技術 地域診断の意義と目的、地域診断過程、地域アセスメントモデル	池田敏子
6	地域看護技術② -相談技術-	生活者としての対象のとらえ方と支援技術① 健康相談の目的と対象、展開方法、コミュニケーション技法	池田敏子
7	地域看護技術③ -教育技術-	生活者としての対象のとらえ方と支援技術② 健康教育の目的と対象、展開方法、プレゼンテーション技法	池田敏子
8	地域看護活動① -行政看護-	地域住民に対する看護：保健所・保健センターにおける看護職の活動	池田敏子
9	地域看護活動② -産業看護-	働く人や家族に対する看護：健診クリニックにおける看護職の活動	社会医療法人財団池友会 福岡和白総合健診クリニック看護部 檜橋有紀 師長
10	地域看護活動③ -学校看護-	児童・生徒に対する看護：医療的ケア児を支援する看護職の活動	福岡県立福岡特別支援学校 看護職員コーディネーター 一木由美 看護師
11	地域ケアシステムづくり	地域の機能と支え合い 地域を取り巻く現状と地域ケアシステムの必要性和看護職の役割 地域包括ケアシステムについて	池田敏子
12	地域看護技術④ -地域ケアシステムづくり-	地域の人々との連携と協働と関係構築 地域のエンパワメントと人々とのパートナーシップ、ファシリテーション技術	池田敏子
13	地域ケアシステムづくりの 実際-地域包括支援センターの 活動-	地域包括支援センターの活動と地域ケアのシステムづくりについて	池田敏子 猪狩明日香
14	地域看護活動④ -病院・在宅-	病院から地域生活へ移行する療養者に対する看護：退院調整支援 看護師の活動	社会医療法人財団池友会福岡和白病院看護部 4A病棟 横瀬佳代子 師長

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
池田 敏子					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	地域看護学概論まとめ	講義の振り返りとまとめ	池田敏子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
在宅看護学概論	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
馬場 みちえ					講義	

授 業 概 要

地域看護における在宅ケアの位置づけを理解し、在宅看護の特徴や在宅看護の対象者の支援について学ぶ。在宅看護の対象は小児から老年まで幅広く、その目的も多岐にわたっている。また社会資源の活用など制度への理解も必要となる。在宅での看護の場合は対象者を理解するとともに、在宅療養を支える家族への援助や意思決定を支えることも必要になる。対象の状態に応じた在宅看護の提供の実際や在宅への移行支援、さらに在宅看護を取り巻く現状と問題を学修する。

到 達 目 標

1. 在宅看護の対象者や在宅看護の役割と目的を理解できる。訪問時の留意点を説明できる。
2. 在宅看護の制度やシステムを知り、対象の特性に応じた在宅看護活動の内容を理解できる。
3. 在宅看護を取り巻く課題について説明できる。
4. 地域包括ケアシステムを活用した退院支援・退院調整について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価

筆記試験とレポートなどから総合的に評価する。

教 科 書

系統看護学講座「在宅看護論」医学書院

参 考 図 書

1. ナーシンググラフィカ 在宅看護論「地域療養を支えるケア」メディカ出版
2. 厚生労働省、各市町村のホームページ

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
在宅看護学概論	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
馬場 みちえ					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	在宅看護の目的と看護の役割	授業ガイダンス 在宅看護の歴史、社会的背景、在宅看護の特徴	馬場みちえ
2	在宅看護の対象者の理解	在宅療養者の特徴、疾患からみた対象者の特徴、障害からみた対象者の特徴	馬場みちえ
3	在宅看護の対象者の理解	在宅療養状態別にみた対象者の特徴 在宅看護における家族への支援	馬場みちえ
4	在宅看護の制度	介護保険制度と訪問看護制度	馬場みちえ
5	在宅看護の提供方法と関連職種との協働	訪問看護の内容と利用の流れ 多職種連携協働と統合	馬場みちえ
6	在宅療養の移行支援	自律・自立支援における意思決定 退院支援のプロセスと退院調整	馬場みちえ
7	在宅看護の制度と関連職種との協働	地域包括ケアシステムを支えるチーム医療とケアマネジメント リスクマネジメントと権利擁護、災害時の支援	馬場みちえ
8	在宅医療の現状と課題 まとめ	在宅看護における倫理と基本理念 在宅医療の現状と課題 まとめ	馬場みちえ

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
成人看護学概論	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
神島 滋子					講義	

授 業 概 要

成人期は人生のライフサイクルの中で身体的、精神的に安定し、社会的には大きな役割や責任を担う時期である。青年期から向老期まで発達段階を経る中で、ライフイベントも多く、生活を営み、仕事を持ち働き、社会的責任も大きくなり、成人期特有の健康問題も生じる。成人期にある対象の健康レベルに応じた主要な理論や概念を学ぶと共に、対象をとりまく環境としての生活と健康を守り育むシステムの保健・医療・福祉の施策や背景、グローバル社会における健康問題の違いについて学修する。

到 達 目 標

1. 成人期のライフイベントが生活に及ぼす影響について説明できる
2. 成人期の特徴と特有の健康問題について説明できる
3. 成人期の健康レベルに応じた看護に必要な概念や理論について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各単元に関する教科書の該当部分を予習する
 事後学修：単元ごとに疑問点などを明らかにし、自ら学修し解決する

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
- 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価

事前・事後テストなどの提出および授業態度（30%）、筆記試験（70%）

教 科 書

系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論（成人看護学1） 医学書院

参 考 図 書

臨床看護学総論（医学書院）他、授業の中で提示する。

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

在室時（都合の悪い時以外いつでも可）

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学概論	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
神島 滋子					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	成人看護学とは	コースガイダンス 成人看護学の概要、成人期にある人とは？（ライフサイクル、ライフイベント）	神島滋子
2	成人期の特徴	成人期にある人とは？	神島滋子
3	成人期の健康障害	成人期の生活を脅かす健康問題と健康障害	神島滋子
4	健康障害を持つ人の経過と特徴と理論①	急性期と回復期の特徴と看護	神島滋子
5	健康障害を持つ人の経過と特徴と理論②	慢性病と共に生きる人への看護	神島滋子
6	健康障害を持つ人の経過と特徴と理論③	エンドオブライフを支える看護と移行支援	神島滋子
7	グローバル社会における健康問題の違い	環境による成人期の健康問題への影響 世界の健康問題と日本との違い	神島滋子
8	まとめ	授業の振り返り、定期試験	神島滋子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
老年看護学概論	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
勝野 とわ子					講義	講義

授 業 概 要

高齢者観・倫理観を深化させるとともに、加齢に関連する諸概念と理論を学ぶことで、高齢者を身体的・心理的・社会的側面から統合的に理解し、高齢者の健康レベルに合わせた質の高い看護を提供するための基礎知識を修得する。さらに、高齢者への心理的支援方法を理解し実践する基礎能力を学習する。また、老年看護学の対象者の成長と発達の過程、人口統計および社会構造の変化、災害時のニーズ、高齢者への保健・医療・福祉サービスの現状と課題を捉え、老年看護実践における専門的な看護者の役割と機能を学修する。

到 達 目 標

1. 高齢者観や倫理観を振り返り、その重要性を理解する
2. 高齢者看護において、応用可能な理論や概念枠組みについて理解する
3. 日本の人口統計や社会構造の変化を説明できる
4. 高齢者を支える諸制度や資源を理解する
5. 高齢者の死生観を理解し、高齢者看護への応用を考えることができる
6. レミニッセンスについて理解を深め、実践・評価できる。
7. 高齢者の災害時ニーズについて理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む

事後学修：提示された課題について調べ考えをまとめる。また、当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
- 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価

課題レポート（70%）、授業中に提示される課題（20%）、授業への貢献度（10%）

教 科 書

ナーシンググラフィカ 老年看護学 ①高齢者の健康と障害 メディカ出版

参 考 図 書

1. 老年看護学概論：「老いを生きる」をささえることとは 南江堂
2. ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 メディカ出版
3. その他 必要時提示します。

留 意 事 項

1. 考えること、考えたことを他者に伝えることを大切にしてください。
2. 授業中の私語は厳禁とします。

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日（12時～13時）その他、必要時アポイントメントを必ずとってください。t.katsuno@kyoju.ac.jp 研究室

実 務 経 験

看護師

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学概論	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
勝野 とわ子					講義	講義

回数	単 元	内 容	担当教員
1	高齢者とは？	オリエンテーション 高齢者をどう見るか、高齢者の定義、 高齢者看護の定義と目的	勝野とわ子
2	成長と発達過程からみた高齢者看護	成長・発達過程からみた高齢者の特徴と課題	勝野とわ子
3	老化現象の理論・概念枠組み	老化現象を説明する生理的・心理的・社会的理論の概要	勝野とわ子
4	高齢者への心理的支援	高齢者を対象とした心理的ケア レミニッセンスの意義、介入方法	勝野とわ子
5	高齢者と死生観	高齢者の死生観、エンドオブライフケア	勝野とわ子
6	人口統計と社会構造の変化 災害時の高齢者のニーズ	日本の高齢者を取り巻く人口統計・健康指標、災害時の高齢者のニーズ（近年の災害から）	勝野とわ子
7	高齢者看護と倫理	倫理原則、高齢者をめぐる倫理問題	勝野とわ子
8	高齢者を支える諸制度と将来展望	高齢者を支える諸制度と将来、認定看護師や専門看護師について	勝野とわ子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮里 邦子、松本 宗賢					講義	

授 業 概 要

家族看護論の学修と関連させながら小児と家族について、社会状況、施策、小児関連統計、子どもの権利に関する条約等から理解する。また、小児の成長発達の特徴、および発達段階に応じた生活と援助の概要、小児看護の対象特性、実践の場における倫理的側面をふまえたケアや課題について学修する。現代社会における子どもの健康問題と健康管理の実際を理解する。さらに地域母子保健活動と他機関との連携・協働のあり方を学修する。

到 達 目 標

1. 小児の成長・発達について説明できる
2. 看護を必要とするさまざまな状況の子どもとその家族への最善の看護について考察し、表現することができる
3. 健康な小児への日常生活援助（世話）にともなう基本的技術を知り、方法を根拠とともに説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

筆記試験、提出物、グループワークや演習の参加度を合わせて総合的に評価する

教 科 書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児看護総論 小児看護学① 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア フ ー 等

水曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮里 邦子、松本 宗賢					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	子どもの成長発達	授業ガイダンス 1) 小児看護の特徴 2) 小児と家族の諸統計 3) 子どもの成長発達 (身体発達の基本原理、形態的成長、機能的発達、精神運動発達、発達検査等を発達段階別に分けて講義する)	宮里邦子
2	子どもの成長発達	子どもの成長発達 (身体発達の基本原理、形態的成長、機能的発達、精神運動発達、発達検査等を発達段階別に分けて講義する)	宮里邦子
3	子どもの成長発達	子どもの成長発達 (身体発達の基本原理、形態的成長、機能的発達、精神運動発達、発達検査等を発達段階別に分けて講義する)	宮里邦子
4	小児看護学で用いる理論	ボウルビーの愛着理論、ピアジェの思考の発達段階、フロイトの発達段階説、エリクソンの心理社会的発達理論、マラーの分離・固体化理論、等	宮里邦子
5	子どもの栄養	形態的特徴、機能的特徴、母乳栄養の特徴、離乳の目的、食育、子どもをとりまく家族や社会の変化、食物アレルギーのある子ども	宮里邦子
6	子どもの日常生活	小児をめぐる法律と政策 (児童憲章、母子保健法、児童虐待の防止等に関する法律、子どもの権利条約、予防接種法等)、子どもと玩具、子どもと遊び、子どもと家族	宮里邦子
7	子どもの権利と尊厳	グループワーク	宮里邦子 松本宗賢
8	演習	子どものおむつ交換、離乳食、抱っこ	宮里邦子 松本宗賢
9	子どもの病気と入院	各期の発達課題、小児の代表的な疾患、入院による影響 (重要他者との別離)、インフォームドアセント、生活環境の変化、子どもの病気に対する理解と反応、行動制限、成長発達と社会適応、家族の変化、小児病棟の特徴	宮里邦子
10	子どもと手術	小児の手術の特徴と看護、手術時期と主な疾患、小児の解剖学的、生理学的特徴、麻酔、インフォームドコンセント、インフォームドアセント	宮里邦子
11	子どもと死	避けることのできる死 (事故等)、死が予想される病気の治療によるボディイメージ、病名告知、年齢別に見た子どもの死の捉え方、ニーズ、家族支援、身体苦痛の軽減、エンドオブライフケア、グリーフケア	宮里邦子
12	子どもと多様性	家庭環境、子どもの気質、先天的疾患、病気の有無、障害の有無等	宮里邦子
13	子どもの多様性	障がいの理解と看護	宮里邦子 松本宗賢
14	子どもの貧困	グループワーク	宮里邦子 松本宗賢

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
宮里 邦子、松本 宗賢					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	子どもとその家族への健康教育	グループワーク	宮里邦子 松本宗賢

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
母性看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
竹元 仁美、寺岡 祥子					講義	

授 業 概 要

リプロダクティブ・ヘルス/ライツおよびウィメンズヘルスの基本的かつ主要な概念を理解し、女性の身体的、心理社会的、文化的側面に着目して女性の生涯にわたる健康支援について学ぶ。また性と生殖のメカニズムとその意義および女性の各ライフステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）における健康の特徴について学び、健康支援に関する看護方法について考察する。現代社会における女性の多様なライフスタイルや家族のあり方から派生する健康課題に関する模擬事例を用いて演習を行い、健康課題を持つ女性とその家族への看護支援について多角的な視点で議論する。

到 達 目 標

【1】母性機能の発達、母性看護の役割と課題について説明できる。【2】リプロダクティブ・ヘルス/ライツおよびウィメンズ・ヘルスにおける主要概念について説明できる。【3】性差医療、性差にセンシティブな女性の健康を支える医療について説明できる。【4】女性の身体的、心理社会的、文化的側面を考慮し、女性の生涯を通じた健康支援について考えを述べることができる。【5】女性の各ライフステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）における健康課題とその看護について説明できる。【6】セクシュアリティ、ジェンダー/セックス、性行動、LGBTQIA+について説明できる。【7】母子保健統計から見た母子の健康問題、課題について説明できる。【8】女性の多様なライフスタイルや家族のあり方から派生する健康課題と看護について説明できる。【9】個人・グループワークを通して、さまざまな健康課題を持つ女性とその家族への看護について看護専門職として議論ができる。【10】女性とその家族に対するよりよい健康を創造する発展的な看護について考察し表現できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく
事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行う

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

筆記試験（80%）、課題レポート（20%）

教 科 書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院

参 考 図 書

1. ナーシンググラフィカ 母性看護学①概論 リプロダクティブ・ヘルスと看護 MCメディカ出版 最新刊
2. 女性看護学 メジカルフレンド社、最新刊
3. 助産師基礎教育テキスト第2巻 女性の健康とケア 最新刊
4. 佐藤正勝・石村由利子編 ウエルネスからみた母性看護過程 医学書院 最新版
5. 太田操 ウエルネス看護診断に基づく母性看護学課程 第3版（最新版） 他

留 意 事 項

母性や女性の健康に関連するトピックについて、日頃から興味関心をもって国内外のニュース等にアクセスし、自分ができる支援について考えて頂きたい。興味・関心・意欲をもって、主体的、自立的な参画を期待している。

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日（17時～18時）・金曜日（17時～19時）研究室

実 務 経 験

助産師として実務経験12年があり、2015年からNPO法人においてリプロダクティブ・ヘルス支援相談員をしている（竹元）。 小児病棟での看護師、および助産師としての実務経験がある（寺岡）。

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
母性看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
竹元 仁美、寺岡 祥子					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	科目ガイダンス 母性看護の概念・変遷 性差医療の概念・変遷 女性のライフサイクルと生き方	科目ガイダンス 母性とは、母性看護とは、母性看護の変遷、母性機能の発達 性差に基づく医療の概念と変遷 女性のライフサイクルと生き方	竹元仁美
2	女性の生涯にわたる健康における主要概念	ウイメンズ・ヘルス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、環境、グローバルイゼーション、ヘルスプロモーション、エンパワメント、ヘルスアセスメント、セルフケア 自己決定を支える支援、国内外における女性の健康課題への支援	竹元仁美
3	母性保健統計	母子保健統計にみる日本の母子保健の現状と課題、海外の母子保健統計の動向と課題	竹元仁美 寺岡祥子
4	女性の健康に関する社会保障制度 母子の健康に関する法律・施策	女性とその家族を取り巻く社会環境における現状と課題、女性・母子に関する法律と施策（母子保健法、母体保護法、男女雇用機会均等法、育児介護休業法）	竹元仁美 寺岡祥子
5	女性のライフサイクルにおける女性の健康と看護	生殖機能・形態の特徴、内分泌環境・性ホルモンと女性の健康課題と看護 性周期と女性の健康、月経と排卵のメカニズム、月経異常・月経随伴症状	竹元仁美 寺岡祥子
6	セクシュアリティ 性の多様性 性行動	性分化のメカニズム、セクシュアリティ、性の多様性、LGBTQIA+	竹元仁美 寺岡祥子
7	思春期・成熟期の女性の健康と性	生殖機能の発達、ウイメンズ・ヘルスの概念、母性の発達・母子相互作用・母親役割、性感染症、母子感染、受胎調節と家族計画	竹元仁美 寺岡祥子
8	思春期における女性・家族の健康課題と看護	デートDV/ドメスティック・バイオレンス、子ども虐待 望まない妊娠、妊娠のコントロール、JKビジネス	竹元仁美 寺岡祥子
9	成人期における女性・家族の健康課題と看護	生殖器に関する疾患、性暴力、医療現場でおきる性の問題	竹元仁美 寺岡祥子
10	更年期・老年期の女性の健康と性	身体的・精神的・社会的特徴、更年期・老年期における女性の健康問題と看護 健康に女性として生きる	竹元仁美 寺岡祥子
11	更年期・老年期における女性・家族の健康課題と看護	更年期障害・下部尿路機能障害・骨粗しょう症・脂質異常症・うつ病・萎縮性膣炎	竹元仁美 寺岡祥子
12	出生前診断 産む・産まないの選択と意思決定	不妊、卵活・妊活、不妊治療と意思決定を支える看護	竹元仁美 寺岡祥子
13	母性看護学における健康教育	女性の生涯にわたる健康教育：生と性に関わる教育/Sexuality Education 周産期における健康教育：助産師外来、退院指導、沐浴指導 教育スキル（コミュニケーション、アセスメント、効果的プレゼンテーション）	竹元仁美
14	女性とその家族のQOLを高めるウエルネス型看護診断とケア	女性とその家族への生涯にわたる健康を支える支援 【事例展開】	竹元仁美

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
竹元 仁美、寺岡 祥子					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	リフレクションと学修総括	学修のリフレクションとLearning Portfolio作成	竹元仁美

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白石 裕子、齋藤 嘉宏					講義	

授 業 概 要

精神の健康（メンタルヘルス）の概念や心の発達と社会生活における危機的状況について学修し、精神的健康の保持増進と精神障害を持つ人々の歴史や社会的環境について理解する。また、こころの動き（心理学的側面）、心と身体との関連性（生物学的側面）、人々とのつながりの有り様（社会的側面）を基盤とした精神看護の基本的な機能とケアの原則について理解することで、対象の健康の保持・増進に寄与できるように学修する。

到 達 目 標

1. 精神の健康と機能および危機的状況を理解し、看護のかかわりを説明できる
2. 精神看護の対象とその看護を説明できる
3. 精神保健医療福祉の歴史から倫理、権利擁護、法律の変遷と看護について説明できる
4. 多様な地域精神保健活動を理解して説明できる
5. 精神障害者の体験を理解し、感じたことを言語化して共有できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前課題は必ず学修して提出する
 事後学修：講義後は、事後学修に取り組み、指定する日時に提出する

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

筆記試験（80%）、学修ノートの達成度（20%）

教 科 書

1. 系統的看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院
2. 系統的看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア フ ー 等

水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白石 裕子、齋藤 嘉宏					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション 精神（こころ）の健康①	マインドフルネスの説明 精神の健康、精神保健の考え方、脳とこころ	白石裕子
2	精神（こころ）の健康②	人間生活と精神機能、身体の健康と精神の健康の関係	白石裕子
3	危機的状況と看護の関わり	発達の危機、状況的危機	白石裕子
4	精神看護のケアの基本①	精神看護学の目的、精神看護学の機能、精神看護学を支える技術	白石裕子
5	精神看護のケアの基本②	精神看護倫理、家族への対応、心理教育、リエゾン看護	齋藤嘉宏
6	患者一看護師関係の発展	ペプロウ・トラベルビー理論	白石裕子
7	精神保健医療福祉の歴史と 看護①	精神障害者の処遇と歴史	齋藤嘉宏
8	精神保健医療福祉の歴史と 看護②	精神保健福祉と関連法規	白石裕子
9	地域精神保健活動①	学校・職場におけるメンタルヘルス	齋藤嘉宏
10	地域精神保健活動②	地域におけるメンタルヘルス、ストレングスとリカバリー の概念、多様な地域保健活動ACT	齋藤嘉宏
11	精神看護の安全と倫理①	精神科におけるリスクマネジメント	白石裕子
12	精神看護の安全と倫理②	暴力の予防（CVPPP）	齋藤嘉宏
13	看護師のメンタルヘルス	感情労働、転移、逆転移	白石裕子
14	精神障害者の体験を理解する	当事者の語り	白石裕子

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学概論	2023年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
白石 裕子、齋藤 嘉宏					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	精神障害者に対する看護師の役割	精神障害者に対する看護師の役割（※学習内容の統合）、講義の総括	白石裕子 齋藤嘉宏

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白岩 美穂					演 習	

授 業 概 要

韓国語Ⅰでの学びを基に、ここでのポイントは臨地の様々な現場で患者との韓国語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を学ぶ。韓国語の場合は平音・濃音・激音の発音トレーニングが重要なので、発音練習の中で、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的単語と簡単な構文を駆使した会話が成立することを目指す。医療者として実務で話す機会が多い内容で構成し、実務に役立つ会話ができるように学修する。

到 達 目 標

1. 韓国語で症状に関する会話ができる
2. 韓国語で入院中の生活に関する会話ができる
3. 韓国語で退院の案内と留意点が説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。

評 価

平常点(課題を含む) 30%
 小テスト 30%
 期末試験 40%

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることをとする。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅱ (医療会話)	2023年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
白岩 美穂					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	身体の基本部位	授業ガイダンス 身体の基本部位の名称	白岩 美穂
2	心配しないで걱정하지 마세요	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
3	どうでしょうか 어떻게 도와 드릴까요?	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
4	いかがですか 기분이 어때요?	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
5	いくつかの診察の質問이 의료 설문지를 작성해 주시겠습니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
6	エレベーターでどうぞ 엘리베이터를 타십시오	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
7	何か症状はありますか 증상이 무엇입니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
8	どこが痛いですか 어디가 아픈니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
9	どれくらい症状が続いてますか 이러한 증상이 얼마나 오래 있었습니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
10	How long have you had these symptoms? 你什么时候开始头痛?	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
11	採血します 혈액 샘플을 채취하려고 해요	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
12	あした手術です 수술은 내일이 될것입니다	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
13	3種類の薬があります 약에는 세 종류가 있습니다	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂
14	心配事がありますか걱정거리가 있나요	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白岩 美穂					演習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	뭔가 걱정거리가 있나요 총 정리	リーディング、リスニング演習、会話練習	白岩 美穂

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
郭路篤					演習	

授業概要

中国語Ⅰでの学びを基に、ここでのポイントは臨地の様々な現場で患者との中国語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を学ぶ。中国の場合は四声の発音が重要なので、発音練習の中でアクセント、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的単語と簡単な構文を駆使した会話が成立することを目指す。健康課題がある人に対し、医療者として実務で話す機会が多い内容で構成し、実務に役立つ会話ができるように学修する。

到達目標

1. 中国語で症状に関する会話ができる
2. 中国語で入院中の生活に関する会話ができる
3. 中国語で退院の案内と留意点が説明できる

事前学修・事後学修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP

- ◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評価

- 1) 授業到達目標への到達努力の評価
- 2) 最終到達度の評価

教科書

黄冬柏『やさしい中国語10課』 中国書店

参考図書

芦益平・黄冬柏『漢語生活会話』 白帝社

留意事項

講義中は教授者の指示がないかぎりスマホ等の通信機器は電源をお切り下さい。

オフィスアワー等

実務経験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
郭 路 鷺					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	身体の基本部位	授業ガイダンス 身体の基本部位の名称	郭 路 鷺
2	心配しないで 別緊張	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
3	どうでしょうか 你需要帮忙吗？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
4	いかがですか 你哪儿不舒服？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
5	幾つかの診察の質問 请您填一下问诊表	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
6	エレベーターでどうぞ 乘坐电梯去到诊断室吧。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
7	何か症状はありますか 你有什么症状？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
8	どこが痛いですか 你那儿痛？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
9	どれくらい症状が続いてま すか 这种状况有几天了？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
10	いつから頭が痛くなりまし たか 你什么时候开始头痛？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
11	採血します 抽血检查一下。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
12	あした手術です 明天要做手术。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
13	3種類の薬があります 有三种药。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺
14	心配事がありますか 你还有什么不明白的地方？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鷺

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
郭 路 篤					演 習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	まとめ 総合練習	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 篤

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
健康障害と治療Ⅳ（アレルギー、感覚器・歯・口腔）	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
兼岡 秀俊					講義	

授 業 概 要

人体構造学、人体機能学や病理学の学修内容と関連させながら、現代の健康上の大きな課題である主なアレルギー健康障害（花粉症、食物アレルギー等）や感覚器健康障害（眼、耳鼻咽喉、歯・口腔、皮膚）の最新の治療、処置、検査について学ぶ。食物アレルギーはときに生命を脅かす場合もあり、花粉症は国民病といわれるくらい多くの人が罹患し、環境汚染（p m2.5など）も大きな問題になっている。このような健康障害に関して健康課題を持つ対象に、よりよい健康の保持と増進を指導できるようになるための基礎的知識について学修する。

到 達 目 標

1. 主なアレルギー疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる
2. 主な眼科疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる
3. 主な耳鼻咽喉疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる
4. 主な歯・口腔疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる
5. 主な皮膚疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

客観試験（100%）

教 科 書

1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 成人看護学⑪ / 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 眼 成人看護学⑬
3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 耳鼻咽喉 成人看護学⑭ / 4. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 歯・口腔 成人看護学⑮
5. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 皮膚 成人看護学⑯ ※全て医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅳ（アレルギー、感覚器・歯・口腔）	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
兼岡 秀俊					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	主なアレルギー疾患と治療	授業ガイダンス 花粉症、喘息、咳喘息	兼岡 秀俊
2	主なアレルギー疾患と治療	食物アレルギー、アナフィラキシーショック	兼岡 秀俊
3	感覚器疾患の診断と治療 1	眼（屈折異常、白内障、緑内障、網膜剥離・糖尿病網膜症、結膜炎）、加齢 黄斑変性、ペーチェット病	村田 浩司
4	感覚器疾患の診断と治療 2	耳鼻咽喉（中耳炎、メニエール病、難聴、咽喉頭がん、副鼻腔炎、嚥下障 害）	安松 千絵
5	感覚器疾患の診断と治療 3	歯（齲蝕、萌出異常、歯肉炎、歯周炎、歯性感染症）、歯の健康保持	中島 幹雄
6	感覚器疾患の診断と治療 4	口腔（悪性疾患、口腔粘膜疾患）	中島 幹雄
7	感覚器疾患の診断と治療 5	皮膚（アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎、蕁麻疹、褥瘡）	古賀 哲也
8	感覚器疾患の診断と治療 6	皮膚（悪性疾患、帯状疱疹、白癬、尋常性乾癬）	古賀 哲也

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
放射線医学	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					講 義	

授 業 概 要

近年X線診断・核医学診断に加え、X線CT、MRIや超音波診断が目ざましい発展を示し、放射線画像診断は欠くことのできない手段として、広く普及するに至っている。放射線療法が進歩する中、人口の高齢化による悪性腫瘍の増加もあり、技術革新によりピンポイントで低侵襲の放射線治療が開発され功を奏している。看護師が働く職場で画像情報を見ない日は1日も無い現状があり、これらの診断と治療を通して患者の状態を把握することは、質の高い看護につながる。日常的に遭遇する放射線を利用した診断法および治療法の基礎的知識について学修する。

到 達 目 標

1. 放射線診断と治療の目的について説明できる
2. 放射線診断と治療の実際について説明できる
3. 放射線障害と防護について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

客観試験（100%）

教 科 書

系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
放射線医学	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	放射線医学の役割（序章） 画像診断と看護（1章）	放射線科はなにをする診療科か（画像診断の役割、放射線治療の役割） 画像診断と看護	石神康生
2	画像診断各論1（2-4章）	X線診断（X線診断の特徴、X線診断を受ける患者の看護）、CT（CTの特徴、 CT検査の実際、CT検査を受ける患者の看護）、MRI（MRIの特徴、MRI検査の 安全性、MRI検査を受ける患者の看護）	石神康生
3	画像診断各論2（5-7章）	超音波検査（超音波検査の特徴、超音波検査の実際、超音波検査を受ける患 者の看護）、核医学検査（核医学検査の特徴、核医学検査を受ける患者の看 護、IVR・血管造影（IVR・血管造影）の特徴、IVRを受ける患者の看護）	南條勝哉
4	放射線治療総論（8章） 放射線治療と看護（9章）	正常組織の有害反応、放射線治療の特徴と目的、照射法の種類（の紹介）	上原隆治
5	放射線治療各論1（10章）	様々な腫瘍に対する放射線療法と看護	高木正統
6	放射線障害（11章）	放射線の身体への影響、放射線の遺伝的影響、放射線の発がんへの影響	藤淵俊王
7	放射線防護（11章）	健康管理と放射線防護、日常診療における放射線防護、小線源治療における 放射線防護と家族への影響	藤淵俊王
8	放射線治療各論2（10章）	様々な腫瘍に対する放射線療法と看護	久野修

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護関係法規	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西 貴 倫					講義	

授 業 概 要

看護師が職業人として質の高い看護を提供するためには、豊かな人間性や深い専門的知識と技術が必要になる。対象となる人々の健康の保持・健康課題に対して科学的根拠のある看護実践はかかせない。その看護実践は業務上多くの法律に関係しており、看護サービスを提供する際には基盤となる法規及び関係法規を、理解しておくことが不可欠である。既修の法律を基盤として職務を遂行するための根拠や判断基準として、看護職に関する法律を学修する。

到 達 目 標

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

1. 看護職の基本法規を理解する
2. 学習した法規を基に看護職として職務を遂行する根拠や判断基準について説明できる

対 応 D P

- 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

客観試験（100％）

教 科 書

系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護関係法規	2023年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西 貴 倫					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	保健師助産師看護師法 1	ガイダンス 目的、定義、免許、業務、研修、試験	西貴倫
2	保健師助産師看護師法 2	学校、養成所、医療過誤、罰則、保健師助産師看護師法の沿革、看護師の人材確保に関する法律	西貴倫
3	医事法	医療法・医師法およびその他医療に関する法規	西貴倫
4	福祉法	福祉関連法（児童分野、高齢分野、障がい分野）	西貴倫
5	保健衛生法	地域保健法、健康増進法	西貴倫
6	労働法と社会基盤整備 1	労働法（労働基準法、雇用保険法、育児休業法、適正な労働の確保に関する法）	西貴倫
7	労働法と社会基盤整備 2	社会基盤整備（男女共同参画社会基本法、少子化社会対策基本法、個人情報の保護等）	西貴倫
8	まとめ	保助看法まとめ	西貴倫

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
看護研究	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
辻 慶子					演習	

授 業 概 要

看護の発展は研究によって支えられている。高度化・複雑化する医療の中で看護の本質を探究し、科学することで人々の生活（QOL）を支え、健康の質に寄与できるよう学修する。看護研究を行う意義、方法、倫理的配慮など看護研究の基礎的知識を学び研究に対する理解を深める。関心のあるテーマに関する文献のクリティークを行い、研究デザインや理論・概念枠組み・データ収集・測定用具・分析方法・分析結果の解釈について学修する。

到 達 目 標

1. 看護研究の概要を説明できる
2. 看護研究の意義を説明できる
3. 研究計画書作成方法を説明できる
4. 質的研究、量的研究、実験研究、文献研究について説明できる
5. 文献検索ができ、クリティークの方法を説明できる
6. 看護研究における倫理的配慮について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
- 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価

クリティークのための個人レポート（20％）、クリティークグループレポート（30％）、課題レポート（50％）を総合して60点以上を合格とする

教 科 書

黒田裕子：看護研究 Step by Step、医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護研究	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
辻 慶子					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	授業ガイダンス 看護研究の概要	①看護研究の意義と歴史の変遷 ②基本的なステップ	辻慶子
2	研究プロセス	①研究のプロセス ②文献検索 ③研究計画書の作成方法	辻慶子
3	研究デザイン・クリティークの方法	①クリティークの方法 ②オンラインデータベースを用いた検索	辻慶子
4	文献検索	①研究疑問と研究デザインとの関連	辻慶子
5	質的研究	①質的研究デザインと特徴 ②質的研究の種類 ③質的研究のデータ収集 ④質的研究の分析 ⑤実例	辻慶子
6	量的研究	①量的研究の概観 ②対象者の選定 ③データ収集方法 ④データ方法 (データの集計、記述統計、推計統計) ⑤実例	辻慶子
7	クリティーク①	①文献を読む ②グループ内でディスカッションを行う ③発表しあい共有する	辻慶子
8	実験研究	①実験法の基本構造 ②実験法の利点と弱点 ③実験法の具体的手順 ④実例	辻慶子
9	文献研究	①文献研究の種類 ②文献研究を看護分野で行うことの意義 ③実例	辻慶子
10	クリティーク②	①文献を読む ②グループ内でディスカッションを行う ③発表しあい共有する	辻慶子
11	クリティーク③	①文献を読む ②グループ内でディスカッションを行う ③発表しあい共有する	辻慶子
12	研究における統計処理	①変数の明確化 ②変数の種類 ③変数の種類による分析方法違いと示し方 ④データの信頼性と妥当	辻慶子
13	クリティーク④	①グループ内でのクリティークのまとめ	辻慶子
14	看護研究上の倫理	①看護研究における倫理	辻慶子

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護研究	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
辻 慶子					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	①クリティークのまとめ ②全体のまとめ	辻慶子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎看護過程実習	2023年度	看護学科	2単位	180時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
児玉 裕美、辻 慶子、松井 聡子、大村 由紀美、竹元 仁美、梅木 彰子、寺岡 祥子、松本 宗賢、 島村 美香、別城 佐和子、喜多 麻衣子					実習	

授 業 概 要

看護専門職者として健康課題を持つ対象者を1名受け持ち、倫理的配慮を基にコミュニケーション技術を用いて援助的人間関係を構築しながら一連の看護過程のプロセスを学ぶ。対象者を身体的・社会的・心理的に理解し、健康課題の問題解決に向けてアセスメント、問題の明確化、計画、実施、評価の看護過程を展開する。さらに自らの看護実践の評価を通して看護専門職者としての知識・技術・態度を修得する。また、今後の学修に向けた自己の課題を明らかにするとともに、患者を取り巻く医療チームの職種とその役割を明確にする。

到 達 目 標

1. 受け持ち患者と援助的人間関係を構築できる。
2. 受け持ち患者に対するアセスメントができる。
3. 受け持ち患者の看護問題を明らかにできる。
4. 受け持ち患者に対して看護計画を立案できる。
5. 受け持ち患者に対して計画に基づき必要な援助を実施できる。
6. 受け持ち患者の看護過程を評価・修正できる。
7. 医療チームの職種とその役割を説明できる。
8. 専門職として倫理観に基づく基本的態度で行動できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

- 事前学修 1. 生活援助技術に関して振り返り技術練習をしておく。
2. 看護過程、生活援助技術、診療に伴う援助技術について事前に復習しておく。
- 事後学修 1. 日々のカンファレンスの学びを明らかにする。
2. 実習期間（2週間）を通して看護者としての課題を明らかにする。

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

基礎看護過程実習評価表に基づき評価し、60点以上を合格とする。

教 科 書

- ・「系統看護学講座 専門2基礎看護技術Ⅰ」（医学書院）
- ・アセスメント覚え書 ゴードン機能的健康パターンと看護診断（医学書院）

参 考 図 書

留 意 事 項

看護過程（看護計画の立案から実施）が展開できるように患者の疾患・治療を調べ整理しておく。

オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（17時～18時）・火曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
基礎看護過程実習	2023年度	看護学科	2単位	180時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
児玉 裕美、辻 慶子、松井 聡子、大村 由紀美、竹元 仁美、梅木 彰子、寺岡 祥子、松本 宗賢、 島村 美香、別城 佐和子、喜多 麻衣子					実習	

内 容

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
地域看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
池田 敏子					演習	

授 業 概 要

地域看護活動は、地域で生活する人々の健康の維持・増進、QOLの向上を目指し展開される。この科目では、地域看護活動を行うために必要となる対象とその家族のセルフケア行動を支援する技術、高齢や障害、疾病があっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう個別支援を通したヘルスケアチームづくりや地域のケア体制づくりを行う際に必要となる技術を学修する。具体的には、個人・家族を対象とした健康相談技術、集団を対象とした健康教育技術について学修する。さらに、看護職が他職種や住民組織との連携・協働する際、コミュニケーション技術を基盤に関係構築を行いながら相互交流や活発な意見を引き出し、合意形成を促すことが求められることからファシリテーション技術についても学修する。

到 達 目 標

1. 人々の暮らしの基盤としての地域について既存資料や統計データを通してその特性を説明することができる。
2. 地域に暮らす人々の健康や生活の特徴を既存資料や統計データを通して説明することができる。
3. 地域を構成する要素、地域を理解するためのシステム思考について説明することができる。
4. 地域に暮らす人々の健康や生活を支える社会資源の種類と概要について説明することができる。
5. 地域で暮らす人々に対するインタビューや地区踏査を通して地域で暮らす人々の生活実態を理解することができる。
6. 地域で暮らす人々の健康課題に対して看護職の活動の場に応じた解決方法を考察することができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

- 事前学修：1. 該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
2. 主体的に自己研鑽する
- 事後学修：1. 当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする
2. 当該テーマに沿った関連文献を読み、さらに内容を深める

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価

筆記試験（50％）、課題レポート（20％）、プレゼンテーション（10％）、講義の学び・感想（10％）、演習への参加態度（10％）

教 科 書

1. 河原加代子, 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 第6版【電子版】, 医学書院, 2022.
2. 河原加代子, 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践 第6版【電子版】, 医学書院, 2022.

参 考 図 書

1. 国民衛生の動向2022/2023 一般社団法人厚生労働統計協会, 2022
2. 神馬征峰, 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生 第14版【電子版】, 医学書院, 2022.
3. 岸恵美子・大木幸子, 地域・在宅看護 看護判断のための気づきとアセスメント, 中央法規出版株式会社, 2022.
4. 金川克子・田高悦子, 地域看護診断 第2版, 東京大学出版会, 2011.
5. 佐伯和子, 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版, 医歯薬出版株式会社, 2018.

留 意 事 項

演習では地域に向いたり、地域の方々にインタビューを行う機会があります。失礼のない言葉遣いや行動を心掛けてください。また、グループでの課題はメンバーで役割分担を行い、協力しながら行ってください。

オ フィ ス ア フ ー 等

金曜日（12時～13時）2717研究室

実 務 経 験

地域住民の健康づくり支援を行う看護職として約7年保健所・保健センターにて勤務経験あり。

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
池田 敏子					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	人々の暮らしの基盤としての地域の理解①	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ガイダンス ・地域看護活動の特徴と目指すもの（おさらい） ・グループ分け 	池田敏子
2	人々の暮らしの基盤としての地域の理解②	<ul style="list-style-type: none"> ・既存資料や統計情報からとらえる地域：①人口・世帯数、人口構成、②出生数と出生率、死亡と死因、③産業構造、④地理的特徴 ・プレゼンテーション ・まとめ 	池田敏子 猪狩明日香
3	地域に暮らす人々の健康と生活の理解①	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージからとらえる地域の人々の健康と生活 ・小児期、成人期、老年期の特徴 ・グループワーク 	池田敏子
4	地域に暮らす人々の健康と生活の理解②	<ul style="list-style-type: none"> ・データからとらえるライフステージ毎の人々の健康と生活の特徴 ・プレゼンテーション ・まとめ 	池田敏子 猪狩明日香
5	地域の人々の健康と生活の理解①	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課題と地域との関連（事例） ・健康課題のとらえ方 ・グループワーク 	池田敏子
6	地域の人々の健康と生活の理解②	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・地域を理解するための考え方 ・システムと個人・家族・地域システム 	池田敏子 猪狩明日香
7	地域の人々の健康と生活を理解するための情報①	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルの概要 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いた地域情報の整理 ・グループワーク 	池田敏子
8	地域の人々の健康と生活を理解するための情報②	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・地域情報の整理と地域特性の理解 	池田敏子 猪狩明日香
9	地域の人々の健康と生活を支える社会資源①	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源の種類と活用 ・人的、物的、制度的社会資源 ・グループワーク 	池田敏子
10	地域の人々の健康と生活を支える社会資源②	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・地域包括ケアにおける社会資源の活用と看護職の役割 	池田敏子 猪狩明日香
11	地域の人々の健康と生活実態の把握①	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らす人々の健康と生活実態の把握 ・インタビューを通じた対象者の健康と生活の実態把握 ・地区踏査を通じた対象者の健康生活の実態把握 	池田敏子 猪狩明日香
12	地域の人々の健康と生活実態の把握②	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューを通じた対象者の健康と生活の実態把握の実施 ・地区踏査を通じた対象者の健康と生活の実態把握の実施 	池田敏子 猪狩明日香
13	地域の人々の健康と生活実態の把握③	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー/地区踏査のまとめ ・プレゼンテーション 	池田敏子 猪狩明日香
14	地域で暮らす人々の健康問題解決のための方法①	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らす人々の健康問題解決のために臨床で働く看護職としてできることと求められる技術 ・コミュニケーション技術 	池田敏子

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
池田 敏子					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	地域で暮らす人々の健康問題解決のための方法②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で暮らす人々の健康問題解決のために地域で働く看護職としてできることと求められる技術 ・ ファシリテーション技術 ・ 講義の振り返りとまとめ 	池田敏子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
在宅看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
馬場 みちえ					演習	

授 業 概 要

基礎看護学、地域看護学概論、在宅看護学概論の学修と関連させながら、自宅で療養生活を送る人とその家族に対する日常生活の基礎的援助技術（食事、排泄、排便、紙おむつ、入浴、移動等）や医療ケアの原理原則や技術について学修する。在宅で生活する人の援助については、対象の生活の場の把握、価値観、サポートの有無、家族の協力などが必要になる。健康課題や障がいを持つ対象に住み慣れた生活の場で実施する生活援助は、対象の安全・安楽に配慮し創意工夫が必要となる。様々な場面を想定しながら在宅における基礎的援助技術や医療ケアについて学修する。

到 達 目 標

1. 在宅看護で求められる日常生活援助が理解できる
2. 在宅看護で求められる医療ケアの原則や技術が理解できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価

筆記試験とレポートなどから総合的に評価する

教 科 書

系統看護学講座「在宅看護論」医学書院

参 考 図 書

1. ナーシンググラフィカ 在宅看護論「地域療養を支えるケア」メディカ出版
2. 「在宅看護技術」メヂカルフレンド社
3. 「基礎看護技術」メヂカルフレンド社
4. 「よくわかる在宅看護」学研

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
馬場 みちえ					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	在宅ケア・看護の目的と対象の理解	在宅ケア・看護の目的、対象の理解 ----- 在宅ケア・看護の目的、在宅看護の対象の特性 訪問看護の提供体制	馬場 みちえ
2	訪問看護の提供体制	訪問看護の提供とは ----- 生活の場への訪問 信頼関係の形成・意思決定の支援 在宅看護における備えと対処	馬場 みちえ
3	在宅看護介入時期別の特徴と関わり	在宅看護介入時期の理解と介入 ----- レスパイトケア	馬場 みちえ
4	在宅看護技術	在宅看護活動を支えるコミュニケーションとその支援 呼吸に関する在宅看護技術（呼吸・循環アセスメント、在宅酸素療法、在宅人工呼吸器療法、呼吸リハビリテーションと排痰ケア、感染管理）	馬場 みちえ
5	在宅看護技術	食事（嚥下アセスメント、摂食嚥下リハビリ、在宅経管栄養法（胃瘻 P-TEG等） 排泄（排泄アセスメント、排泄ケア（ウロ、コロストーマ、浣腸、摘便、留置カテーテル）	馬場 みちえ
6	在宅看護技術	清潔（口腔ケア、洗髪、手浴、足浴、陰部洗浄） ----- 褥瘡（褥瘡アセスメント、褥瘡ケアと予防）	馬場 みちえ
7	在宅看護技術	姿勢、移動・移乗（住環境アセスメントと環境整備、転倒転落アセスメントと自立支援を目指す福祉用具の活用）	馬場 みちえ
8	在宅看護における医療ケア	在宅における薬物療法と管理 ----- 在宅経管栄養法（胃瘻 P-TEG等）、在宅中心静脈栄養法の管理と自立支援	馬場 みちえ
9	在宅看護における医療ケア	在宅酸素療法（HOT）、在宅人工呼吸療法の管理と自立支援	馬場 みちえ 喜志多玲 山本真由美
10	在宅看護における医療ケア	在宅透析の管理と自立支援 ----- 在宅でのストマの管理と自立支援	馬場 みちえ 喜志多玲 山本真由美
11	在宅看護における医療ケア	在宅での褥瘡管理と自立支援 ----- 在宅緩和ケアにおける褥瘡管理と自立支援	馬場 みちえ 喜志多玲 山本真由美
12	感染管理と予防	在宅での感染管理と予防	馬場 みちえ 喜志多玲 山本真由美
13	在宅におけるエンドオブケア	死の捉え方とエンドオブライフケア	馬場 みちえ 喜志多玲 山本真由美
14	在宅におけるエンドオブケア	家族への支援 グリーフケア	馬場 みちえ 喜志多玲 山本真由美

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
馬場 みちえ					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	授業のまとめ	馬場 みちえ 喜志多玲 山本真由美

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
成人看護学慢性期援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
神島 滋子					演習	

授 業 概 要

人体構造学・人体機能学、健康障害と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ、成人看護学概論と関連させながら、健康障害の経過としての慢性期(回復期を含む)の概念および特徴について理解し、慢性期にある成人期の対象者に見られる主な健康障害への援助方法や主要な症状についての看護アプローチの方法について学修する。慢性期は生活の再構築やセルフマネジメントへの支援が不可欠なことから、対象者の身体的・精神的・社会的変化を考慮しながら対象への看護アプローチの方法についての思考プロセスを修得する。看護における臨床推論や症状マネジメントの考え方について演習を通して学ぶ。

到 達 目 標

1. 慢性期にある対象者の健康問題とそれが及ぼす身体的・精神的・社会的側面への影響について説明できる
2. 慢性期にある対象者及び家族に対する看護について根拠を示して説明できる
3. 慢性期にある対象者及び家族に対する自己決定や倫理的側面について説明できる
4. 慢性期にある対象者及び家族にセルフマネジメントを促す援助について説明できる
5. 代表的な疾患によって生じる健康課題への支援方法や不快症状のマネジメント方法について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各単元に関する教科書の該当部分を予習する。演習については事前に指示する
事後学修：単元ごとに疑問点を明らかにし、自ら学修し解決する

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
- 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価

筆記試験（70%）、課題レポート・提出物・態度（30%）

教 科 書

成人看護学 成人看護技術 [Web動画付] 改訂版 南江堂
成人看護技術（系統看護学講座専門分野 成人看護学1～11）

参 考 図 書

1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦ 医学書院
2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 医学書院
3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器 成人看護学④ 医学書院
4. M. ゴードン：アセスメント覚え書 ゴードン機能別健康パターンと看護診断 医学書院

留 意 事 項

提出物による評価が大きくなっています。事後事後課題、レポートは忘れずに提出すること！

オ フィ ス ア ワ ー 等

在室時（都合の悪い時以外いつでも可）

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
神島 滋子					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	慢性期とは	授業ガイダンス：援助論(急性期および慢性期)の進め方 慢性の障害を持つ人への看護	神島滋子
2	症状とマネジメント	病態・症状との関係と症状のマネジメント 臨床推論、臨床判断	神島滋子
3	グループワーク	演習：症状のマネジメントに必要な看護について考える	全員
4	呼吸機能障害のある患者の看護	講義：呼吸機能の障害に伴う症状とマネジメント	神島滋子
5	循環機能障害のある患者の看護	講義：循環機能の障害に伴う症状とマネジメント	神島滋子
6	造血・免疫機能障害のある患者の看護	講義：血液・免疫の障害に伴う症状とマネジメント	島村美香
7	循環機能障害と随伴症状	演習：呼吸・循環障害に特徴的な症状とマネジメント：「呼吸困難」「浮腫」	全員
8	造血機能障害と随伴症状	演習：造血機能障害に特徴的な症状とマネジメント：「発熱」「倦怠感」	全員
9	代謝機能障害のある患者の看護	講義：代謝機能障害に伴う症状とマネジメント	別城佐和子
10	脳・神経障害のある患者の看護	講義：脳神経障害に伴う症状とマネジメント	神島滋子
11	代謝機能障害のある対象の理解と看護	演習：食事のセルフマネジメントが必要な人への支援	全員
12	嚥下障害の人の食事体験	演習：「嚥下障害」 嚥下評価、とろみ剤、嚥下食の試食と食事介助方法	全員
13	嚥下機能障害のある対象の理解と看護	講義：消化機能障害に伴う症状とマネジメント	島村美香
14	腎・泌尿器の障害	講義：腎機能障害に伴う症状とマネジメント	島村美香

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
神島 滋子					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	まとめ	全員

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
成人看護学急性期援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
梅木 彰子					演習	

授 業 概 要

急性期看護の概念および特徴を理解し、周手術期および急性状況にある患者と家族の看護について機能障害別に学ぶ。成人期にある人とその家族の発達段階、身体的、心理的、社会的な特徴を総合的に理解し、周手術期の対象の術前・中・後・回復期を通して、身体侵襲の予測、苦痛緩和、社会生活への適応に向けた看護実践のための基礎的知識を修得する。また、急性状況にある患者への看護援助を行うための基本的な問題解決過程と技術を学修する。

到 達 目 標

1. 急性期にある対象者の健康問題とそれが及ぼす身体的・精神的・社会的側面への影響について説明できる
2. 急性期にある対象者及び家族に対する看護について根拠を示して説明できる
3. 急性期にある対象者及び家族に対する自己決定や倫理的側面について説明できる
4. 周手術期の特徴及び看護の役割について説明することができる
5. 周手術期にある患者への看護援助を行うための基本的技術を実践することができる
6. 救急医療の現状を理解し、必要な看護援助を説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各単元に関する教科書の該当部分を予習する
 事後学修：単元ごとに疑問点などを明らかにし、自ら学修し解決する

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

筆記試験（70％）小テスト、事後課題等で総合的に評価する（30％）

教 科 書

1. 系統看護学講座 臨床看護総論 医学書院
2. 系統看護学講座 クリティカルケア看護 医学書院
3. 成人看護学 成人看護技術 [Web動画付] 改訂第3版 南江堂

参 考 図 書

アセスメント覚え書 ゴードン機能的健康パターンと看護診断 医学書院
 周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 医学書院

留 意 事 項

オ フィ ス ア フ ー 等

水曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
成人看護学急性期援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
梅木 彰子					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	急性期にある対象の看護 (1)	授業ガイダンス 講義：急性期にある人と家族の特徴	梅木彰子
2	急性期にある対象の看護 (2)	講義：急性期にある人を理解するための理論・概念 心理的反応、危機理論、意思決定	梅木彰子
3	周手術期にある対象の理解 と看護 (1)	講義：周手術期看護、手術前の看護	梅木彰子
4	周手術期にある対象の理解 と看護 (2)	講義：術中の看護	神島滋子
5	周手術期にある対象の理解 と看護 (3)	講義：手術後の看護	梅木彰子
6	周手術期にある対象の理解 と看護 (4)	講義：術後の継続看護 退院に向けたセルフケア支援	梅木彰子
7	生命危機状態にある患者の 看護	講義：救急および集中治療を必要とする人の看護	梅木彰子
8	グループワーク	急性期の特徴的な症状に対する看護	全員
9	手術療法を受ける患者の看護 (1)	講義：肺切除術を受ける患者の術前における看護	梅木彰子
10	手術療法を受ける患者の看護 (2)	講義：肺切除術を受ける患者の術後急性期 (ICU入室) における看護	梅木彰子
11	手術療法を受ける患者の看護 (3)	講義：胃切除術を受ける患者の術後回復期～退院に向けての看護	梅木彰子
12	検査を受ける患者の看護	講義：侵襲の大きい検査を受ける患者の看護	島村美香
13	急性期看護演習	演習：術後の循環・呼吸モニタリングに必要な看護技術 術後ベッド作成	全員
14	急性期看護演習	演習：術後の循環・呼吸モニタリングに必要な看護技術 術後ベッド作成	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学急性期援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
梅木 彰子					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	急性期にある成人の看護 振り返り	全員

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
老年看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
勝野 とわ子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子					演習	講義・演習

授 業 概 要

加齢に伴う身体、心理、社会的変化の理解を基盤として、高齢者に対するヘルスアセスメントのポイントについて理解する。高齢者の生活を支える諸制度および社会資源、ヘルスプロモーションについて理解し、健康生活を支援する基礎的知識を修得する。また、認知症などについて理解を深め高齢者と介護家族に対する看護方法について基礎的能力を修得するとともに、高齢者看護における社会資源、チーム活動の重要性について理解する。さらに、高齢者への意思決定支援とエンドオブライフケアについて理解する。

到 達 目 標

1. 高齢者の特徴と高齢者を対象とした看護の目標について理解する
2. 高齢者の生活を支える諸制度および社会資源について理解する
3. 高齢者に特徴的な加齢変化とヘルスアセスメントのポイントを理解する
4. 高齢者に多い症状と疾患、薬物・手術療法およびそれらの看護について理解する
5. 認知症など認知機能低下をもたらす疾患への理解を深め、高齢者および介護家族へのケアについて理解する
6. 高齢者への意思決定支援とエンドオブライフケアについて理解する
7. 高齢者看護における社会資源、チーム活動の重要性について理解する
8. 高齢者看護高齢者を対象としたヘルスプロモーションの重要性を理解し、看護介入方法を考えることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各単元に提示する教科書、資料を熟読し事前課題に取り組む
 事後学修：授業内容の復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価

筆記試験（70%）、課題レポート（20%）、授業への貢献度（10%）

教 科 書

1. ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ① 高齢者看護の健康と障害 メディカ出版
2. ナーシング・グラフィカ 老年看護学 ② 高齢者看護の実践 メディカ出版

参 考 図 書

1. 真田弘美・正木治恵編 「老年看護学技術：最後までその人らしく生きることを支援する」南江堂
2. 系統看護学講座 老年看護学（第9版）医学書院
3. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論（第5版）医学書院
4. 井出 訓編 「新訂老年看護学」放送大学教育振興会

留 意 事 項

授業中の私語は厳禁です。

オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（17時～18時）。他の時間に個別の面接を希望する場合は、t.katsuno@kyoju.ac.jp(勝野)；m.iwakura@kyoju.ac.jp(岩倉)；m.kita@kyoju.ac.jp(喜多)；k.sasaki@kyoju.ac.jp(佐々木)に連絡ください。

実 務 経 験

看護師

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
老年看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
勝野 とわ子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子					演習	講義・演習

回数	単 元	内 容	担当教員
1	高齢者看護の目標と高齢者を取り巻く社会	オリエンテーション 高齢者を対象とした看護の目標と人口動態、健康指標	勝野とわ子
2	高齢者を支える制度と資源	高齢者を支える諸制度および社会資源	岩倉真由美
3	高齢者の特徴と加齢による変化	高齢者の身体的・心理的・社会的特徴及び加齢による変化、アセスメントのポイント	勝野とわ子
4	高齢者に特徴的な症状と疾患およびそれらを支える看護1	高齢者によくみられる症状・疾患とそれらを支える看護（循環器系、呼吸器系、脳神経系など）	勝野とわ子
5	高齢者に特徴的な症状・疾患とそれらを支える看護2	高齢者によくみられる症状・疾患とそれらを支える看護（がん、糖尿病、感染症など）	喜多麻衣子
6	薬物療法、手術療法、診察・検査と看護	薬物療法、手術療法、診察・検査を受ける高齢者の看護	喜多麻衣子
7	高齢者の生活を支える看護	高齢者とのコミュニケーション、食生活、住まい、経済状態など	岩倉真由美
8	高齢者の認知機能障害に関する看護ケア1	認知症、うつ病、せん妄の病態生理および症状、認知機能および身体機能のアセスメント	勝野とわ子
9	高齢者の認知機能障害に関する看護ケア2	認知症など認知機能障害をもつ高齢者への看護ケア	勝野とわ子
10	介護する家族へのケア	高齢者を介護する家族への看護ケア	岩倉真由美
11	終末期の看護	高齢者の意思決定支援とエンドオブライフケア	喜多麻衣子
12	高齢者看護の場とチームアプローチ	高齢者の療養を支えるチームの活動と多様な施設、医療機関における看護	岩倉真由美
13	高齢者のヘルスプロモーション	高齢者を対象としたヘルスプロモーション（生活習慣病予防、転倒予防など）	岩倉真由美
14	高齢者のヘルスプロモーションの実際Ⅰ（演習）	ヘルスプロモーションプログラムの作成演習	岩倉真由美 喜多麻衣子 佐々木 孝

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
老年看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
勝野 とわ子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子					演習	講義・演習

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	高齢者のヘルスプロモーションの実際Ⅱ（演習）	ヘルスプロモーションプログラムの作成演習	岩倉真由美 喜多麻衣子 佐々木 孝

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮里 邦子、松本 宗賢					演習	

授 業 概 要

小児看護学概論の学修を関連させながら、小児の看護において必要な発達の状況に応じた技術・ケアについて学ぶ。小児の健康状態を把握する上で不可欠なヘルスアセスメントを学び、さらに発達の状況に応じた小児の生活を支える技術や、治療処置に伴う技術について学ぶ。小児の健康や健康障害を支援するときに家族の存在は重要である。小児と家族が健康を保持し、よりよい成長を支えられるように学修する。小児看護技術に関しては、演習を通して実践に即した方法で学修する。

到 達 目 標

1. 健康障害を持つ子どもとその家族の特性を理解し、表出することができる
2. 看護する立場から健康障害を捉え、説明することができる
3. 健康障害を持つ子どもとその家族にとって必要な看護を具体的に説明することができる
4. グループワークを通して事例の情報を関連付け、全体像を描くことができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

筆記試験、グループワーク、提出物を合わせて総合的に評価する

教 科 書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア フ ー 等

水曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮里 邦子、松本 宗賢					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	病気や障害がある子どもとその家族とのコミュニケーション	子どもとその家族への看護の特徴（プレパレーション、アセスメントの視点、等） 子どもの理解度に合わせてコミュニケーション、セルフケア 子どもを育てる家族とのかかわり	宮里邦子
2	体温調節機能に消耗が生じている子どもとその家族への看護	事例を提示し、事例についての看護について講義する	宮里邦子 松本宗賢
3	循環、呼吸に消耗が生じている子どもとその家族への看護	事例を提示し、事例についての看護について講義する	宮里邦子 松本宗賢
4	運動機能、休息や睡眠に消耗が生じている子どもとその家族への看護	事例を提示し、事例についての看護について講義する	宮里邦子 松本宗賢
5	食事や栄養、排泄機能に消耗が生じている子どもとその家族への看護	事例を提示し、事例についての看護について講義する	宮里邦子 松本宗賢
6	バリア機能（衣）、清潔、性と生殖に消耗が生じている子どもとその家族への看護	事例を提示し、事例についての看護について講義する	宮里邦子 松本宗賢
7	子どもの遊びや学習、環境に対する看護	事例を提示し、事例についての看護について講義する	宮里邦子 松本宗賢
8	看護過程の展開	PBL学習法を用いたグループワーク	宮里邦子 松本宗賢
9	看護過程の展開	PBL学習法を用いたグループワーク	宮里邦子 松本宗賢
10	看護過程の展開	PBL学習法を用いたグループワーク	宮里邦子 松本宗賢
11	看護過程の展開	PBL学習法を用いたグループワーク	宮里邦子 松本宗賢
12	看護過程の展開	PBL学習法を用いたグループワーク	宮里邦子 松本宗賢
13	看護過程の展開	PBL学習法を用いたグループワーク	宮里邦子 松本宗賢
14	看護過程の展開	PBL学習法を用いたグループワーク	宮里邦子 松本宗賢

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
宮里 邦子、松本 宗賢					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	看護過程の展開	発表、まとめ	宮里邦子 松本宗賢

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
母性看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
竹元 仁美、寺岡 祥子					演習	

授 業 概 要

家族看護論、母性看護学概論の学修を踏まえ、マタニティサイクル（妊娠・分娩・産褥期）の女性および胎児・新生児の健康や成長・発達を促すために必要な看護とその方法を理解する。さらに、ハイリスク妊娠、異常妊娠・産褥などの状態にある対症のニーズを理解するとともにその対象の看護及び家族に対する看護について学修する。女性とその家族の発達過程・健康レベルに基づき、セルフケア能力および健康の質（QOL）を高めるウェルネス型ケアの探究について考察する。

到 達 目 標

【1】妊娠期の対象の心身の変化、それに伴う健康課題とその看護について説明できる。【2】胎児の成長・発達について説明できる。【3】妊娠期の対象の健康問題について説明できる。【4】分娩の機序について説明できる。【5】分娩期の対象の心身の変化について説明できる。【6】分娩期の対象の健康課題とその看護について説明できる。【7】産褥期の対象の心身の変化について説明できる。【8】産褥期の対象の健康課題とその看護について説明できる。【9】新生児の胎外生活適応状況とその看護について説明できる【10】新生児の健康・発達課題とその看護について説明できる。【11】周産期において健康逸脱した対象とその家族の看護課題と看護方法について説明できる。【12】セルフケア能力及びQOLを高めるウェルネス型看護診断に基づくケアについて考えを述べるができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく
事後学修：教科書と配布プリント（ワークブック）による復習を行う

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

筆記試験（100%）

教 科 書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院

参 考 図 書

1. ナーシンググラフィカ 母性看護学②母性看護の実践 MCメディカ出版 最新刊
2. ナーシンググラフィカ 母性看護学③母性看護技術 MCメディカ出版 最新刊
3. 助産師基礎教育テキスト 妊娠期・分娩期・産褥期のケアのシリーズ 最新刊
4. 日本産科婦人科学会 産婦人科診療ガイドライン 産科編 最新刊
5. 佐藤正勝・石村由利子編 ウェルネスからみた母性看護過程 医学書院 最新版

留 意 事 項

母性や女性の健康に関連するトピックについて、日頃から興味関心をもって国内外のニュース等にアクセスし、自分ができる支援について考えて頂きたい。学生さん自身のライフコースと重なる科目でもあり、意欲的、主体的、自立的な参画を期待する。

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日（17時～18時）・金曜日（17時～19時）研究室

実 務 経 験

助産師としての実務経験が12年あり、2015年よりNP0法人においてリプロダクティブ・ヘルス支援相談員をしている（竹元）。小児病棟での看護師、および助産師としての実務経験がある（寺岡）。

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
母性看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
竹元 仁美、寺岡 祥子					演習	

回数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	妊娠の生理・妊婦の看護	授業ガイダンス 妊娠のメカニズム、胎児の成長・発達、母体の身体的・精神的変化	竹元仁美 寺岡祥子
2	妊婦と胎児の看護	妊婦の看護、妊娠中のマイナートラブル、親となる支援、出産と育児の準備 妊婦健康診査、妊婦と胎児のアセスメント	竹元仁美 寺岡祥子
3	妊娠期の異常と看護	ハイリスク妊娠、妊娠に伴う異常、合併症を有する妊婦、胎児の異常 異常妊娠・合併症妊娠と看護	竹元仁美 寺岡祥子
4	分娩の生理 産婦のアセスメントと看護	分娩の生理、分娩の三要素、分娩のメカニズム、分娩経過のアセスメント、 胎児のアセスメント	竹元仁美 寺岡祥子
5	産婦のニーズと看護	周産期の母性意識の発達、出産体験の評価、新しい家族関係の構築、安全・ 安楽のための支援、分娩の種類、産婦の看護	竹元仁美 寺岡祥子
6	分娩の異常と看護	産道の異常、娩出力の異常、胎児の異常（胎位、胎勢、発育）、胎児付属物の 異常、分娩時異常出血、手術分娩、正常経過を逸脱した産婦の看護	竹元仁美 寺岡祥子
7	褥婦の身体的変化とアセス メント 褥婦の看護	全身の変化とアセスメントと看護、生殖器の変化とアセスメントと看護 乳房の変化とアセスメントと看護	竹元仁美 寺岡祥子
8	褥婦の心理社会的変化のア セスメント 母乳育児と看護	親役割獲得のための支援、マタニティブルー、育児支援（母乳育児、児の 世話）	竹元仁美 寺岡祥子
9	産褥期の異常と看護	産褥期感染症、乳頭・乳房のトラブル、産褥精神障害、合併症のある褥婦の 看護	竹元仁美 寺岡祥子
10	新生児の生理 新生児のアセスメント	新生児の生理、子宮外環境への適応、新生児の成熟度のアセスメント フィジカルアセスメント	竹元仁美 寺岡祥子
11	新生児の看護	出生直後、出生後24時間以内と出生後24時間以降の看護	竹元仁美 寺岡祥子
12	新生児の異常と看護	出生直後の異常と看護、出生後24時間以降の異常と看護、先天異常と看護 NICUの看護	竹元仁美 寺岡祥子
13	特別な状況における妊産婦 への看護	流産・死産、ペリネイタルロスと看護 帝王切開術前と術後の看護、合併症リスクと予防	竹元仁美 寺岡祥子
14	ウェルネス型看護診断に基 づく看護過程の展開	妊産褥婦及び胎児/新生児を対象としたウェルネス型看護診断に基づいた看 護過程 ウェルネス型看護診断に基づいた看護過程における演習展開方法に ついて 事例紹介・事例展開① Case Based Learning	竹元仁美 寺岡祥子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
母性看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
竹元 仁美、寺岡 祥子					演習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	看護過程の展開方法 科目のまとめ	ウェルネス型看護診断に基づいた看護過程展開演習② Case Based Learning リフレクションとLearning Portfolio作成	竹元仁美 寺岡祥子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白石 裕子、齋藤 嘉宏、中本 亮					演習	

授 業 概 要

精神の健康と障害を、Bio-Psycho-Socialな側面から学修することにより、精神的健康の保持増進について理解する。また主な精神の障害を取り上げ（統合失調症、気分障害、アルコール依存症、パーソナリティ障害）症状に対する看護技術を学ぶ。小児の精神障害では知的障害の症状や治療と看護、家族への関わりを考える。更に我が国における精神障害者の置かれている状況を学び、障害を持つ対象の社会復帰についても、施設内リハビリテーションやコミュニティにおけるリハビリテーションについても論じる。

到 達 目 標

1. 障害の考え方（ICD11, ICF）について理解できる
2. 主な精神疾患の治療と看護について説明できる
3. 精神疾患に関する法的側面を理解できる
4. 精神科におけるリハビリテーションの概念と地域における資源の活用について考える事ができる
5. 精神障害を持つ人や家族の病への向きあい方を理解する方法や支援を考えることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
- 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価

客観テスト（80％）、課題レポート（20％）

教 科 書

1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院
2. 講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白石 裕子、齋藤 嘉宏、中本 亮					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	精神障害者の理解と現状	精神障害とは～障害の考え方、DVD学修 精神か治療の基本	白石裕子
2	精神疾患と看護－① 統合失調症	統合失調症の症状と治療 看護ケア～急性期～回復期～慢性期～（講義）	齋藤嘉宏
3	精神疾患と看護－② 気分障害	気分障害の症状と治療 看護ケア～軽躁～躁状態、うつと大うつ状態（講義）	中本亮
4	精神疾患と看護－①・② 統合失調症／気分障害	統合失調症者の症状把握 気分障害者の症状把握（演習）	白石裕子 齋藤嘉宏 中本亮
5	精神疾患と看護－①・② 統合失調症／気分障害	統合失調症者の症状把握 気分障害者の症状把握（演習）	白石裕子 齋藤嘉宏 中本亮
6	精神疾患と看護－③ 物質関連障害	アルコール依存症の症状、治療と看護ケア 薬物依存症の症状、治療と看護ケア ギャンブル依存症の症状、治療と看護ケア（講義）	齋藤嘉宏
7	精神疾患と看護－④ パーソナリティ障害と摂食 障害	パーソナリティ障害の症状、治療と看護ケア 摂食障害の症状、治療と看護ケア（講義）	中本亮
8	精神疾患と看護－③・④ 物質関連障害／パーソナリ ティ障害と摂食障害	物質関連障害者の症状把握 パーソナリティ障害と摂食障害の症状把握（演習）	白石裕子 齋藤嘉宏 中本亮
9	精神疾患と看護－③・④ 物質関連障害／パーソナリ ティ障害と摂食障害	物質関連障害者の症状把握 パーソナリティ障害と摂食障害の症状把握（演習）	白石裕子 齋藤嘉宏 中本亮
10	精神疾患と看護－⑤ その他の障害	不安障害、解離性障害、心身症等の症状と治療 看護ケア～一般要件と要約、主な神経症のケア	白石裕子
11	精神疾患と看護－⑥ 小児の精神障害	アスペルガー症候群の症状と治療 知的障害の症状と治療、看護ケアについて	齋藤嘉宏
12	精神疾患をもつ対象者に対 する看護の視点－①	トラウマ・インフォームド・ケア	白石裕子
13	精神疾患をもつ対象者に対 する看護の視点－②	ストレングス・ベースド・ケア	白石裕子
14	精神障害者に対する看護師 の役割－①	地域精神看護の実際（援助者の語り：訪問看護ステーション）	白石裕子

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学援助論	2023年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
白石 裕子、齋藤 嘉宏、中本 亮					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	精神障害者に対する看護師の役割-②	精神障害者に対する看護師の役割（※学習内容の統合）、講義の総括	白石裕子 齋藤嘉宏 中本亮